



# 今はコロナ対策に集中すべきでは

「今の政局で一番重要な事は？」と問えば誰もが「コロナ対策」と答えるでしょう。  
5月11日迄の短期集中の緊急事態宣言は効果が上がらず月末まで延長。更に北海道、広島、岡山を対象を拡大。  
国会全体でコロナ対策に知恵を絞るべきなのに、菅首相は質問にまともに答えない。  
そして今、全国各地で新規感染者数が急激に増加している。

菅首相は「安全安心のオリンピック」を口にするが、どうやって実現するのか、中身の説明はない。「医療関係者一万人必要」と組織委橋本会長は云うが、ワクチン接種の為に医療体制すらおぼつかない中でどうするのか？  
東京の各国大使館は、日本の実情を見て「これは危ない」と報告しているのだから。五輪

選手の事前合宿が次々と中止となっている。  
この中で憲法論議

そんな中、5月11日、衆院本会議で憲法の「国民投票法改正案」が自公や立憲等の賛成で可決。今国会で成立の見込みと云う。  
自民党の憲法改訂案は非常事態条項で、報道の自由や人権を抑え、選挙も無期延期できる代物。  
憲法を変えなくても、法律でコロナ対策は出来る筈。政府が国会や記者会見でとことん説明すれば国民も納得してついて来る。  
コロナ蔓延中の「オリンピック開催」「憲法改正」の叫びは、国民には「コロナなんか大したことない」と聞こえるのでは？  
あなたはどう思われますか？

## 永田南の丘から

神奈川県横浜市南区永田南二丁目  
二〇二一年五月



永田南の台地の上からは関内方面を眺めることができる。

正面にランドマークタワーが聳え、ベイブリッジや、つばさ橋の主塔も見える。

見通しが利くので、この絵を描いている間に、何組もの親子が訪れた。「赤い電車」と云って喜ぶ小さな子もいれば「あっ、あれは「二一〇〇系だ」などと叫ぶテツキチもいる。

昔は高台の尾根道なら関内方面、そして海までみはるかすことができた。

しかし、最近尾根道の両側に住宅が建ち並んでいる。この場所は急峻な崖に面している、遠くを見通せる貴重な場所となっている。

絵の左の方、緑が豊富なのは台地の急峻な斜面だ。この緑がいつまでも残っていることを祈りたい。

。

